

第3節 人にやさしく安全な交通体系をつくる

都市活動の基盤としての道路整備を促進するとともに、福祉や環境にも配慮した、人にやさしく安全な交通体系をめざします。

1. 交通の流れを円滑にする

今、求められていること

- 本市の幹線道路は、交通量が多く慢性的に混雑しているため、交通渋滞の解消や安全性の確保を図ることが求められています。

取り組みの方向

- 交通渋滞を解消するため、円滑な道路ネットワークが形成されるように市内の道路網の整備を進めます。
- 京阪本線沿線地域の交通渋滞の解消や歩行者の安全性の確保を図るため、京阪本線連続立体交差化を進めます。

<主要な取り組み>

- 幹線道路の整備
- 駅前広場の整備
- 京阪本線連続立体交差化の推進



楠葉中宮線